≪答申に対する森ビルの具体的な取り組み内容について≫

	答　　申*	取り組み区分	具体的な取り組み内容
事故予防のための取り組み	事故を未然に防ぐための体制造り 1．マニュアル整備とマニュアルに基づく訓練等の継続 2．継続的なモニタリング 3．児童心理学的や保育による専門家からの検証 4．ヒューマンセンサーの活用	Ⅰ．基準整備 1．設計安全基準作成 2．施設運営指針整備拡充	Ⅰ 1．設計安全基準作成 ・安全設計ガイドライン（建築空間/構造･設備仕様） ・安全設計を維持するために ・数値、性能基準、データシート 2．施設運営指針整備拡充 ・管理/運転/運行基準、運営基準、非常時対応基準、教育訓練 ・機能させる体制/仕組み
	情報の収集と分析、フィードバック 1．情報システムの構築 2．事故情報の分析と研究部門設立への支援 3．ハインリッヒの法則による事故予防	Ⅱ．モニタリング 1．継続的なモニタリング手法の作成 2．ヒューマンセンサーの活用 3．地域社会による対応、子どものための活動サポート	Ⅱ 1．モニタリング ・お客様ご意見箱、社員意見箱の設置 2．ヒューマンセンサー ・サポートクルー活動 ・高齢者/身障者対応講習会 3．ご意見/クレームデータベース ・本稼動、今後の取り組み 4．都市としてのサービス拡充 ・トイレ関連の改修/授乳室/休憩エリアの新規設置/親子休憩室の設置/ｻｲﾝの整備/親子向けｻｰﾋﾞｽ情報の拡充
	利用者への情報のフィードバック 1．アフォーダンス情報の発信 2．様々な形での事故情報受発信	Ⅲ．情報システム 1．情報システムの構築 2．情報の分析・発信	Ⅲ 1．情報システムの構築、分析・発信 ・ビル速報/移行時の変更点/第２フェーズ ・管理部内での情報集約/集計･分析
社会貢献	「子どもの安全」を中心とした研究･教育･啓蒙活動等 1．公開講座の開設 2．ライブラリーの開設 3．子どもを持つ親によるネットワークづくり		
	都市としてのサービス拡充、イベント開催、コミュニティ造り等 1．地域社会による対応 2．子どものための活動をサポート	Ⅳ．研究教育 1．行動心理学、児童心理学的なアプローチからの検証 2．公開講座、ライブラリィ、ネットワークづくりの検討 3．新世代技術を用いた事故予防等の情報化推進	Ⅳ 1．スクールの開校 ・安全・安心街づくりの日 ・Safety Management スクール 2．ＩＴを通じた森ビルの安全対策
	安全会議の創設	Ⅴ．安全会議 1．早期開設 2．定例化と外部有識者の招聘	1．早期開設 ・２００４年１１月より毎月１回継続開催中　【資料②】 2．定例化と外部有識者の招聘
	新世代技術を用いた事故予防等の情報化推進		

＊答申については「全社掲示板」⇒全ての文書⇒2004/10/28「安全委員会答申に対する全社的な取り組み及び安全対策本部体制について」を参照のこと